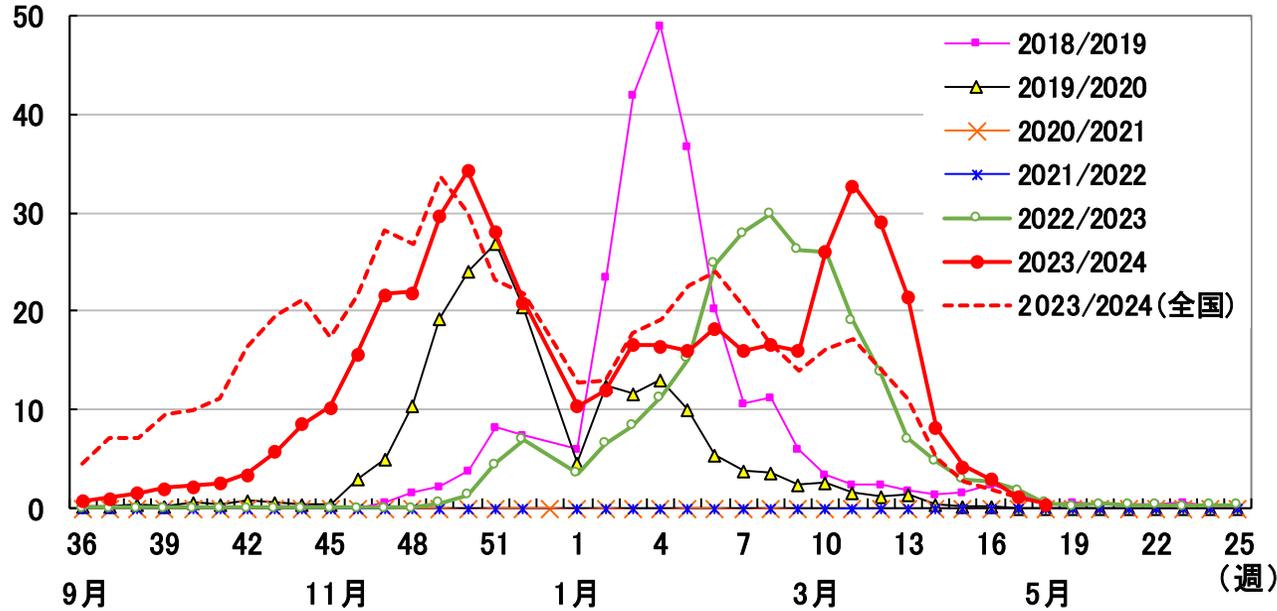


インフルエンザの発生状況(富山県)

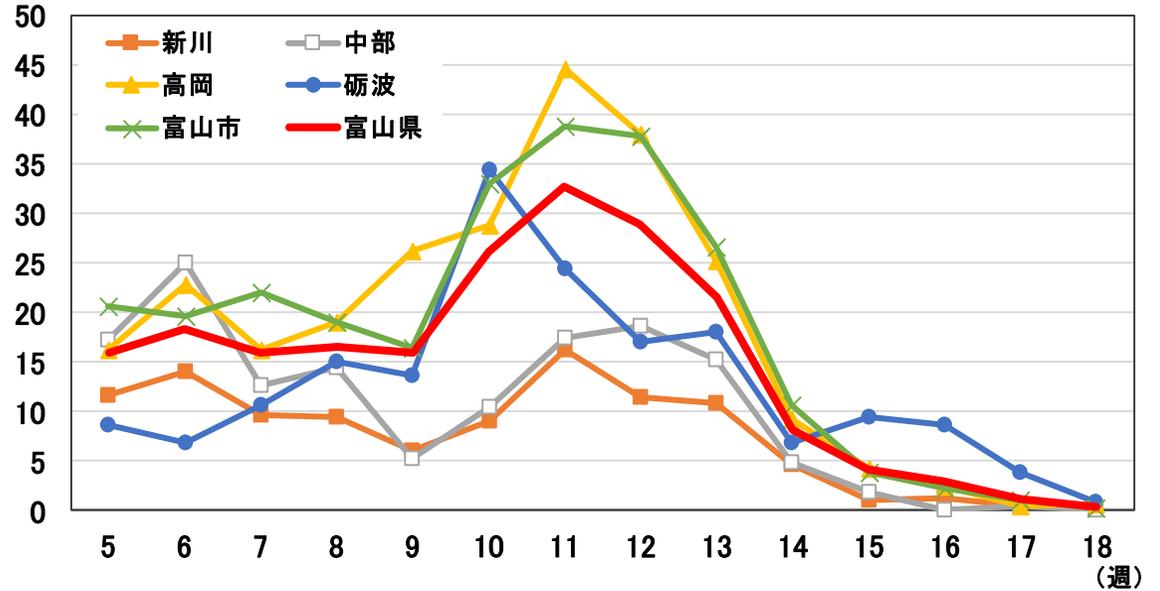
【第18週(2024/4/29~5/5) 感染症発生動向調査速報値 (2024/5/8時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第18週) **0.40**人/定点となり、先週(1.17人/定点)から減少した。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、全ての管内で先週と比較して減少または横ばいであった。

図3. 年代別割合(富山県、第18週)

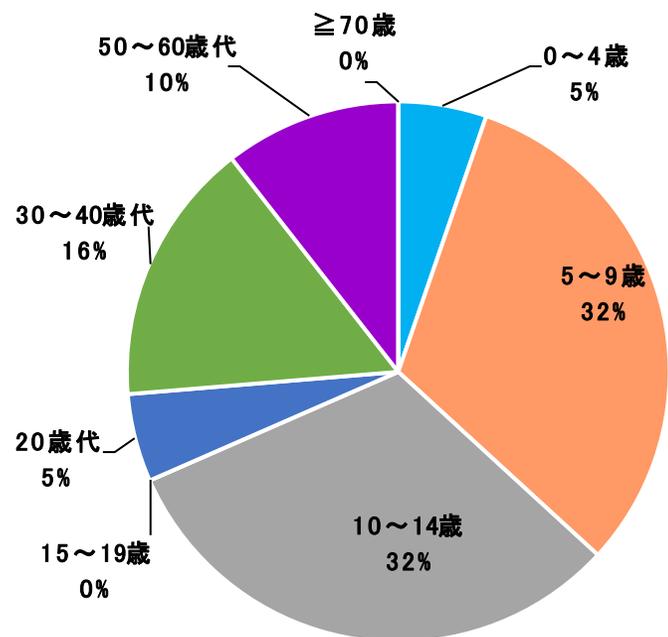
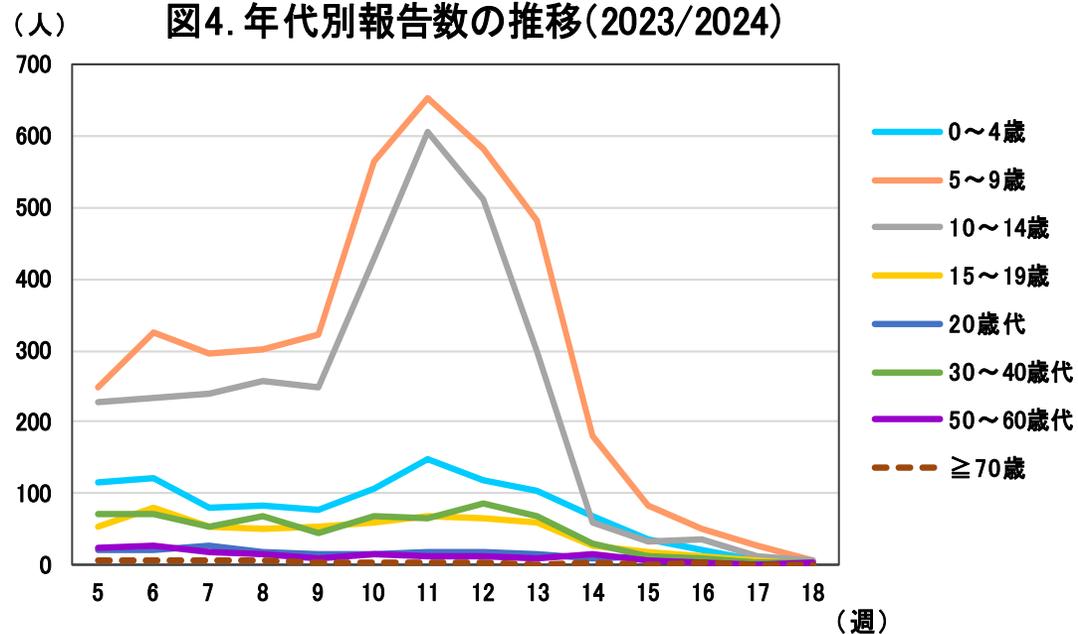


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第18週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が69%を占め、先週（80%）から減少した。
- 年代別報告数の推移（図4）では、すべての年代において先週と比較して減少または横ばいであった。

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第17週)

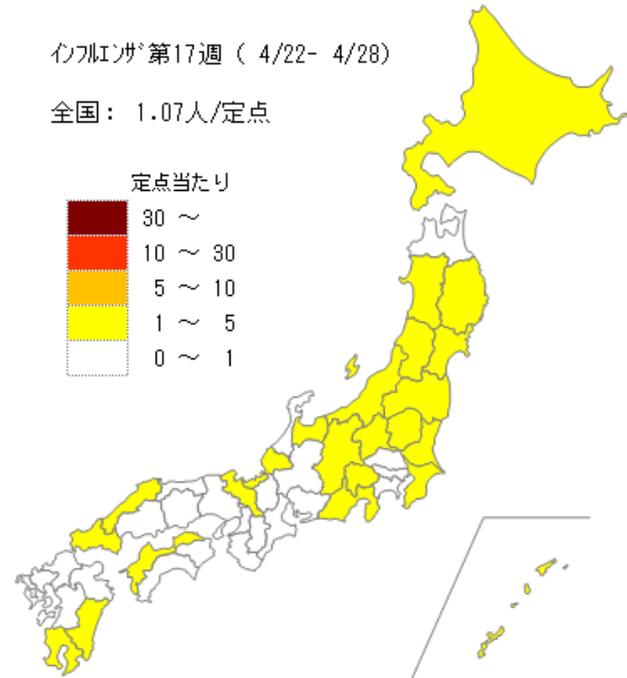
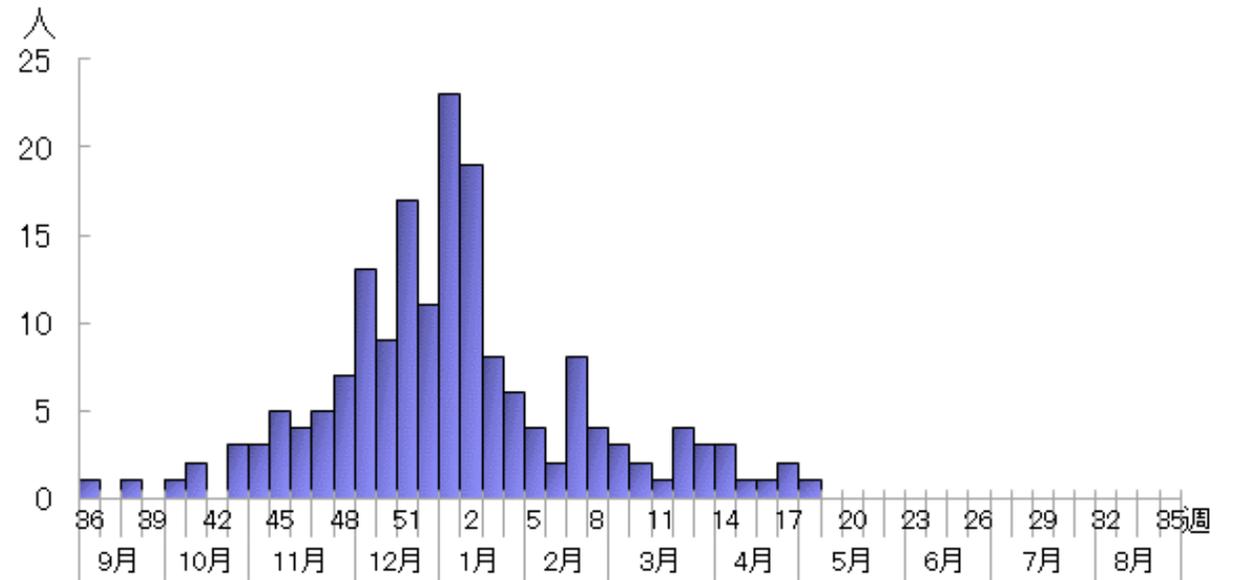


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第18週)



- 全国では第17週に1.07人/定点となり、第16週 (1.85) から減少した。都道府県別 (図5) では、注意報レベルの目安である10人/定点を超える都道府県はなかった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス (図6) では、第18週に1例 (5歳未満) の報告があった。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は第11週をピークに減少が継続している。引き続き今後の発生動向の経過を追いたい。